

知床国立公園適正利用・エコツーリズム検討会議 「ウトロ海域部会」

平成23年度 第2回 部会

平成23年10月5日
知床世界遺産センター レクチャールーム
環境省

1

議事次第

1. 開会挨拶
2. 参加者のご紹介
3. 議 事
 - (1) ユトロ海域部会の目的・進め方について
 - (2) 本年度事業実施報告
 - i ユトロ海域海鳥調査報告
 - ii 利用動向調査(アンケート調査)中間報告
 - iii 観光船事業者によるウトロ海域観察記録報告
 - iv 観光船事業者によるケイマフリデコイを使用した海鳥のPR活動報告
 - (3) 今後の課題
 - i 改善点などの検討、意見交換
 - (4) 次年度事業計画について
 - i 次年度事業計画
 - ii ホームページ作成について
 - (5) その他
 - i 意見交換
4. 閉会



2

(1) ウトロ海域部会の目的・進め方について



3

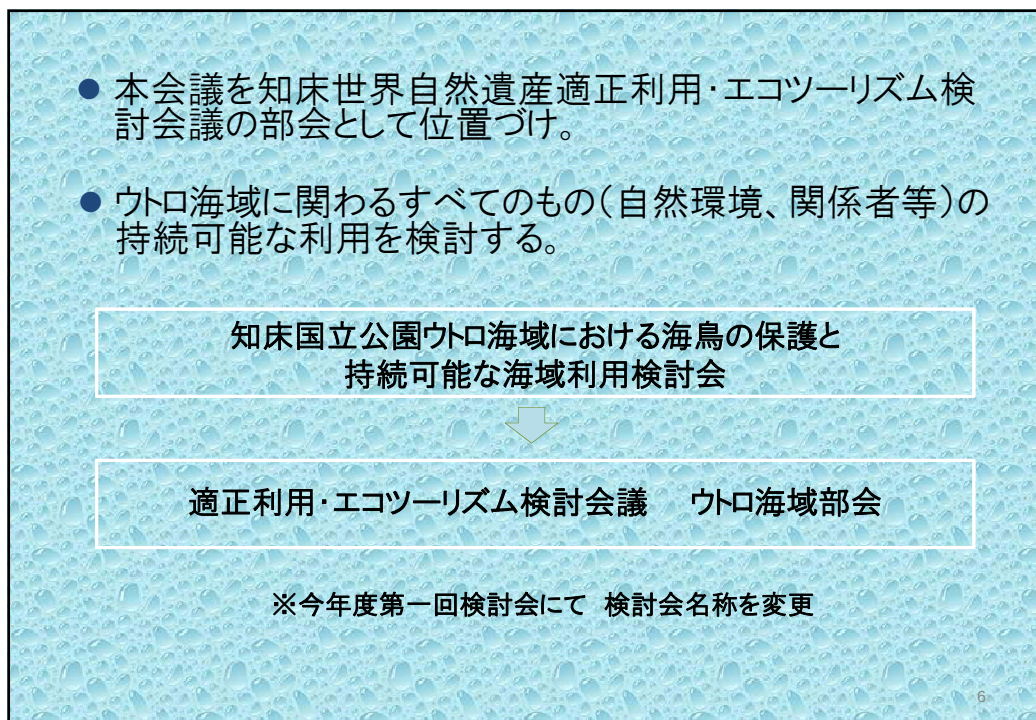
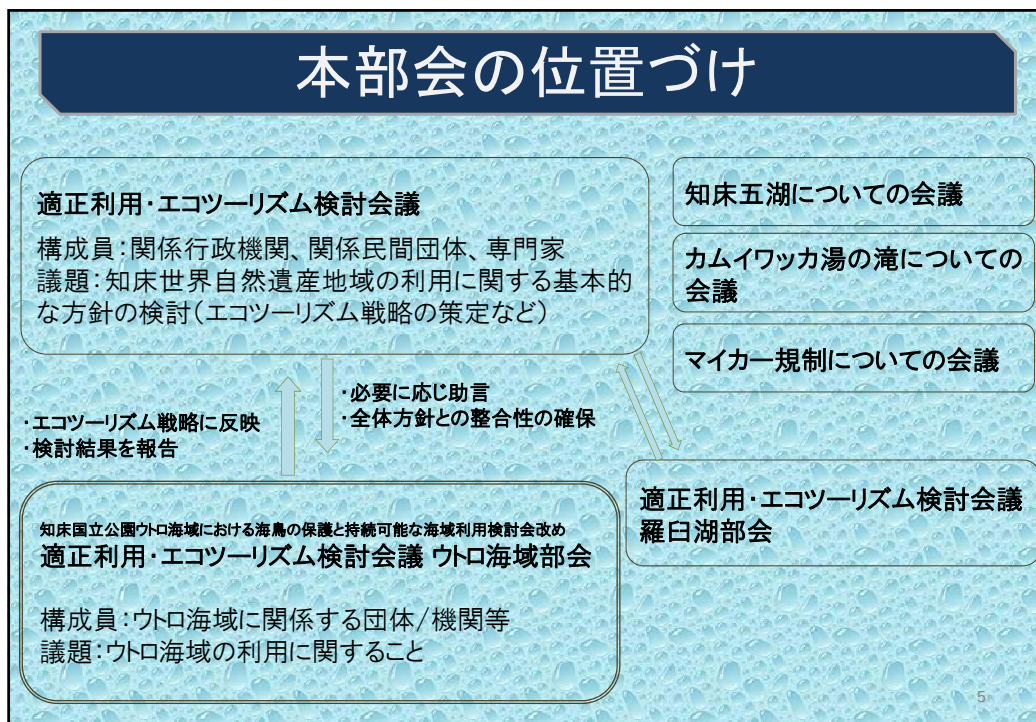
本部会の目的・進め方について

- ・ 世界遺産地域の海域の価値を高める
- ・ エコツーリズム戦略の策定を視野に入れたモデルケース
 - ①多様な野生生物を含む原生的な自然環境を後世に引き継ぐ
 - ②利用者により良い自然体験を提供
 - ③地域経済の発展の促進



- ウトロ海域を利用する人間と海鳥の双方にとって好ましい状態の創出
(Win-Winの関係)
- ウトロ海域を利用する全ての関係者それぞれにとって好ましい状態の創出
(Win-Win-Win-...の関係)

4



本部会の進め方

自然遺産地域の自然環境・価値を維持しながら、海域の利用をより好ましい状態にするにはどうしたらよいかを検討する。

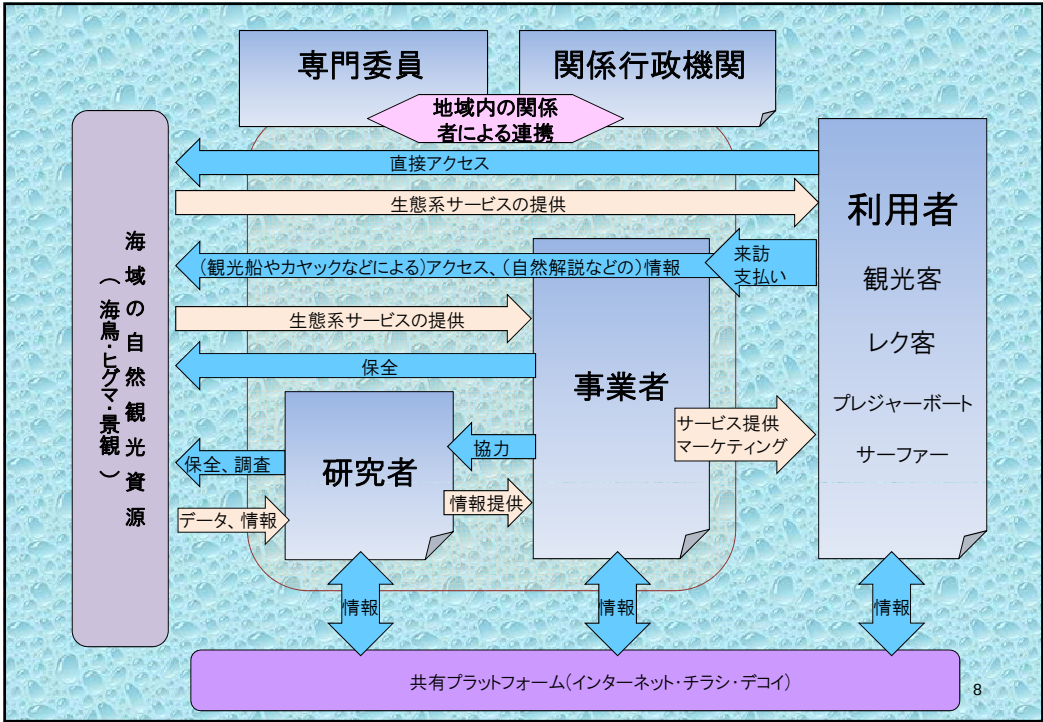
「規制」を念頭においたものではなく、新たな規制を作らずに遺産価値の維持と海域の利用がうまく回っていく仕組み作りを目指していきたい。

そのために、関係者みんなで実態調査や利用のあり方を考えながら進めていきたい。

ウトロ海域における守るべき遺産価値には、海鳥以外にも魚類や海獣類などがあり、加えてヒグマなどの陸上哺乳類や断崖などの海から見た景観などが考えられる。

その中でも国際的に希少で、国内・道内で観察できる場所が限られているケイマフリを本部会の重要対象種として位置づけ、保全と利用のwin-winの関係を目指したい。

7



(2) 本年度事業実施報告

- i ウトロ海域海鳥調査報告
- ii 利用者動向調査(アンケート調査)中間報告
- iii 観光船事業者によるウトロ海域観察記録報告
- iv 観光船事業者によるケイマフリデコイを使用した海鳥のPR活動報告



平成23年度実施計画

※第一回検討会(5月)より一部修正

興味を持つ・知ってもらう

- ・ ケイマフリなどの海鳥に興味を持つ
- ・ 知床の海域のおもしろさを伝える

<利用者に対して>

- ・ 利用施設での展示
- ・ 船内アナウンスなどでの紹介
- ・ 取り組み紹介(調査結果などを含む)
- ・ チラシの配布
- ・ ホームページの作成

<実施主体として>

- ・ 利用者へのアンケート実施
- ・ みんなで簡易な調査を行う(地図にマーク、写真による記録など)
- ・ 詳しいモニタリング調査

<環境への配慮>

- ・ デコイの設置
- ・ デコイを使ったPR
- ・ より好ましい利用形態の検討(例えば、ゾーニングや新たなルート開発など)

(i)ウトロ海域海鳥調査報告

- 海鳥の海上センサス調査
5月上旬～10月上旬
- 海鳥の生息状況調査
(1)ケイマフリ生息状況調査(5月～8月)
(2)ケイマフリの営巣分布調査(6月～8月)
(3)海鳥の繁殖分布状況調査(6月～8月)
- ケイマフリの採食・食性調査
5月上旬～10月上旬
- ケイマフリデコイの設置



11

(ii)利用者動向アンケート調査

- 観光船利用者を対象

- ・配布時期 前期(海鳥繁殖期) :6月～7月
後期(海鳥非繁殖期):8月～9月
- ・観光船窓口配布と直接配布 (昨年同様)
- ・期、大型船・小型船、航路、団体・個人の集計
単位別に目標回答数100とし配布
- ・他の陸上アンケート調査と設問内容の調整



今年度配布アンケート
(アンケート票・返信用封筒・ポストカード)

12

● アンケート配布計画

○ 平成23年度海域利用者動向アンケート調査 ―アンケート配布数の試算

				目標 回答数	予想 回収率	必要 配布数				
大型観光船	岬航路	硫黄山航路	団体ツアー客	100	30%	333	1,000			
				100	30%	333				
			個人旅行者	100	30%	333				
小型観光船	岬航路			100	25%	400	800			
	硫黄山航路			100	25%	400				
シーカヤック				100	25%	400	400			
				合計		2,200	2,200			

1期あたりの配布計画数量

- ・アンケートは前期(6月～7月)、後期(8月～9月)の2期実施
- ・前期、後期で合計4,400部の配布

13

● 観光船事業者各社のアンケート配布協力(1)

● 大型観光船

- ・観光船窓口配布、船内配布、船内放送によるアンケート協力案内の実施
実施協力: 道東観光開発(おーろら号)

● 小型観光船

- ・配布全数を窓口配布
実施協力: ゴジラ岩観光(カムイワッカ号)、知床遊覧船(KAZU号)、ヒットカラーカーテン(FOX号)、
ホワイトドリー 旭川(ドルフィン号)、いるかホテル(デルフィナス号) ※順不同

● シーカヤック

- ・配布全数を利用者へ直接配布
実施協力: 知床アウドアガイドセンター

御協力ありがとうございました。

14

● 観光船事業者各社によるアンケート配布協力(2)



船内での配布（おーろら号）



待合所、乗船窓口での配布（ドルフィン号、FOX号）



船内放送でのアンケート協力をお願い（おーろら号）

『本日、観光船おーろら号（おーろら2号）に御乗船の皆様へ、環境省からのお願いです。ただいま環境省では、世界自然遺産地域・知床国立公園における海域レジャー利用に関するアンケート調査を実施しております。豊かな自然の残る知床の海を後世に伝えるため、本日乗船された皆様の御意見や御感想を是非お聞かせください。

アンケートは切手不要の返信用封筒による回収となりますので、御旅行から御帰宅された後でも構いません。お時間のある時に記入して頂き、お近くのポストへ入れて頂ければ結構です。住所や御名前前の記入の必要も御座いません。また今回のアンケート票には非売品のポストカードが同封されております。

入港後、船を降りられましたら係の者がアンケート票を配布しております。是非お受け取りの上アンケート調査に御協力をお願い致します。

皆様にとって良い旅になりますように・・・ 環境省からのお願いでした。』

● アンケート配布状況 ※8月末までの中間実績

分類	航路	6月	7月	8月	9月	計
大型観光船	岬	100	510	458	343	1,411
	硫黄山	100	430	207	365	1,102
		200	940	665	708	2,513
小型観光船	岬・ルシヤコース	177	188	195	195	755
	硫黄山コース	212	223	205	205	845
		389	411	400	400	1,600
シーカヤック		33	139	369	203	744
		33	139	369	203	744
		33	139	369	203	744
計		622	1,490	1,434	1,311	4,857

※小型観光船のコース別配布数は見込み数量

配布計画数を概ね達成

○アンケート配布における問題点と改善経緯

- ・配布開始時期が遅れた
- ・大型船の配布方法の確立の遅れ → 船内放送を実施して改善(7月中旬以降)
- ・航路別の配布割合の調整があまり出来なかった → 8月以降は改善

● アンケート結果 ※8月末までの中間実績

アンケート回収状況

カテゴリ	航路	6月	7月	8月	計	回答率 (8月迄)
大型観光船	岬コース	16	144	90	250	23.4%
	硫黄山コース	5	75	45	125	17.0%
	※未回答		2	1	3	—
	小計	21	221	136	378	20.9%
小型観光船	岬コース	19	86	45	150	—
	硫黄山コース	7	36	16	59	—
	ルシヤ・ペアウオッチ	0	26	35	61	—
	※未回答	1	2	2	5	—
	小計	27	150	98	275	22.9%
シーカヤック		8	39	65	112	20.7%
	小計	8	39	65	112	20.7%
合計		56	410	299	765	21.6%

17

(iii) 観光船事業者によるウトロ海域観察記録報告

- 概要 運行時に見られる海鳥の観察記録を付けてもらい海鳥の生息状況の変化や、デコイの設置による効果の観察を行ってもらい、海鳥生息環境の監視効果と海鳥への関心度の向上や、観察データの蓄積により、観光サービスの向上効果にも期待。

● 今年度実施状況

- ・大型観光船おーら号、おーら2号で6月～7月の期間で観察記録を実施
- ・59便分の観察記録を実施



おーら号



船内からの海域観察を実施

18

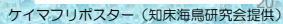
19

(iv) 観光船事業者による
ケイマフリデコイを使用した海鳥のPR活動報告

- 概要 環境省保有のケイマフリデコイを、ケイマフリをはじめとする海鳥の生息海域保全のPR活動のシンボルとして観光船事業者に展示用として貸し出しを行った。デコイは観光船カウンターや待合室、観光船内などでも展示利用され、また知床海鳥研究会(福田氏)からは展示資料としてケイマフリの解説ポスターを提供して頂いた。



ケイマフリデコイ（陸上設置型）



● ケイマフリデコイ展示例(1)



ケイマフリデコイ・ポスターの船内展示
(大型観光船おーろら号)



店舗内での海鳥情報展示
(ゴジラ岩観光)



観光船の船首にケイマフリデコイ登場
(ゴジラ岩観光)

21

● ケイマフリデコイ展示例(2)



ケイマフリが登場するブログ
(岩尾別ユースホステル)



ケイマフリデコイ・ポスターの展示
(岩尾別ユースホステル)



ケイマフリデコイの展示
(世界遺産センター)



ポスター・写真によるケイマフリの展示
(世界遺産センター)

22

(3) 今後の課題

i 改善点などの検討、意見交換

- 平成23年度の活動から見える課題について
- WIN[※]となるより好ましい利用・保全のアイデア



23

(4) 次年度事業計画について

- 次年度事業計画について
- ホームページ作成について



24

i 次年度事業計画について

事業年次計画

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
自然観光資源の価値の向上			
ケイマフリ繁殖地の再生実験	デコイ製作	デコイ設置、誘引効果 モニタリング	誘引効果モニタリング
海鳥の生態調査 ・ウトロ～岬の分布 ・生息状況、採食状況	生態調査 ・本調査 ・モニタリング	生態調査 ・追加調査 ・モニタリング	生態調査 － ・モニタリング
利用機会の拡大			
利用動向調査	予備調査 (利用者アンケート)	本格調査 (利用者アンケート)	本格調査 (利用者アンケート)
魅力的な利用形態	－	より好ましい利用形態の検討	より好ましい利用形態への 取り組み実施
各種海域利用者間の調整			
漁業、遊漁、シーカヤック等の 状況把握	関係者ヒアリング 課題整理	実態調査	検討・調整
広報普及啓発			
海域利用の楽しみ方のPR	小冊子作成	パンフレットの活用 インターネットによる情報提供 ミニ出前講座の開催	観察会開催等

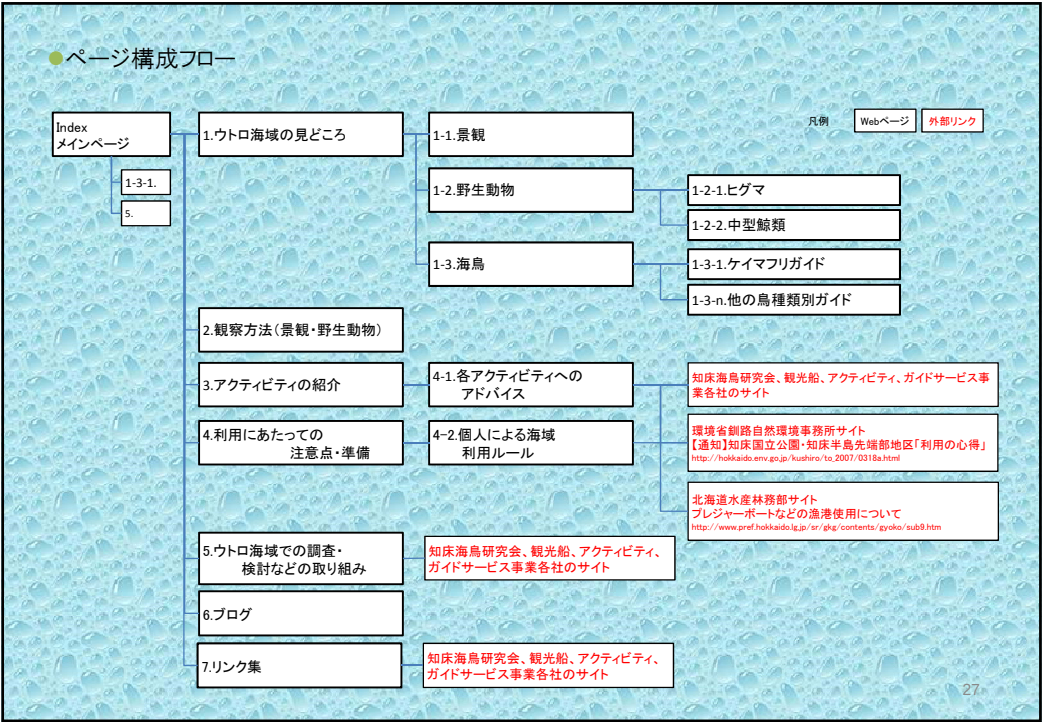
ii ホームページ作成について

- 概要 知床の魅力や楽しみ方を紹介。各アクティビティの紹介と楽しむためのコツや注意点などの情報提供と共に、特に「海域」にスポットを当てて、ケイマフリをシンボルとして海域の豊かさや貴重さを紹介するとともに、それらの生息環境への保護・保全の必要性を訴え、また各事業者が行う具体的な取り組みをリアルタイムで発表・PRする。

●制作スケジュール

- ・ホームページ構成・運用に関する関係者からの意見収集(本部会)
- ・叩き台として11月までに一通り完成
- ・委員・関係者へレビュー → 修正を経て公開開始





(5) その他

i 意見交換



閉会



29